

長倉池

(ながくらいけ)



全景(手前側に散在する玉丘古墳群)



朝焼けの長倉池(日の出とコハクチョウ)



北帰行に備え集合したコハクチョウ



晩夏から初秋のミズトラノオの群生

ため池の概要

ため池の所在地

兵庫県加西市

ため池の特徴

長倉池は、周辺に農業用水を供給する皿状のため池で、隣接する牧草地、玉丘史跡公園や周囲の山林と一体となり、特に朝方牧草地から昇る朝日や西の山に夕日が沈む時の景観は他に類を見ないすばらしさです。

加西市は、隣接する小野市とともにコハクチョウの越冬南限の地であり、毎年稲作終了後の池干しが終わり、水が溜まり始めると付近の池で越冬していたコハクチョウが飛来し、北帰行までの集結地となります。

また、長倉池は近畿地方におけるミズトラノオの代表的な群生地となっており、池周辺はカスミサンショウオ、ニホンアカガエル、ヒメナエ、ゴマクサなどの貴重な動植物が生息しており、農業高校等の環境研究活動の拠点のひとつとして利用されています。

関連情報